

令和4年度 学校評価（年度末評価）

令和5年3月
愛知県立東海南高等学校

本年度の重点目標		①バランスの取れた全人的な成長のための教育活動の充実 ②進路希望の実現に適した教育課程の選択による学びの充実 ③目標と家庭を明確にして学びに向かう姿勢を育てる指導の充実 ④主体性と協働する力を育てる部活小津や学校行事の実践 ⑤生徒一人一人の心身の健康を支える支援の充実 ⑥職員の業務改善の推進		
分掌	項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題 （*は課題）
教務部	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 目指す生徒像の実現に向け、学校全体として「確かな学力の育成」に向けたさまざまな指導形態を取り入れた指導の改善と充実 目指す生徒像の実現に向けた、よりよい新教育課程の編成と評価の観点趣旨の確定 業務の分担・効率化を図り、円滑な業務進行の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 「確かな学力の育成」に向けた授業改善等のための指導法についての情報提供を行い、教科会などで活用してもらう。 一人一人の生徒に対してさまざまな観点から現在地を把握することで、適切な指導を考え実践し、情報共有を密にすることで、生徒の把握や確かな学力向上に向けての適切なアプローチを構築していく。 1つ1つの業務に対して、よりよい取り組みを思考し続け、確かな進行を心がけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 「あいちラーニング」を中心に主体的・対話的で深い学びの実践を共有する機会を作ることができた。 観点別評価の導入にあたり、適切なタイミングで各教科や教科担当者などとやり取りしスムーズに推し進めることができた。 *スタディサブリの効果的な利用のために、教員や生徒にもっと伝えていく必要がある。 *あいちラーニングを中心に、教員同士がもっと参観しやすい、あるいは情報共有のしやすい環境を工夫する。
総務部	防災教育	<ul style="list-style-type: none"> 防災教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に防災委員会を開催し、複数回防災活動を実施し、日常的に危機管理・安全意識を高揚させる。 「高校生防災セミナー」参加者を中心に、災害時に主体的に行動できる生徒の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「高校生防災セミナー」の参加者を中心に本校の防災教育について見直す機会を得た。 シェイクアウト訓練を行い、防災訓練を行うことができた。 *非常放送設備の使用法の全職員への周知。 *防災委員会活動の活性化。
生徒指導部	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶のできる生徒の育成 時間を守ることのできる生徒の育成 いじめ・盗難等のない安全で安心できる学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や受け答え、職員室・体育教官室の入室等大人の対応ができること。 8時30分までに校門を通過することや学校行事など集団が集まる時に、時間を守ることができること。 ボランティア活動や行事、講話等を通じて「おもいやり」のある行動がとれること。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な生徒対応において教員間の情報共有を素早く行うことができた。 昨年度までに比べて、地域からの苦情電話が減少した。 8時30分校門通過することができない生徒が昨年に比べて減少している。 *校外でも自主的に挨拶できる生徒を育てる。
進路指導部	育（進路）指導 キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の充実に向けた指導運営体制づくり 大学入試の変化への対応策の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的・系統的な進路行事の実施や進路情報の発信により、生徒が主体的に自らの進路目標を設定できるようにする。 大学入試に関する情報収集と整理を適切に行い、職員間で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中においても模試、補習、講話など各学年の行事を予定通り実施できた。 各進路行事の改善策を進路指導部全員で考えることができた。 LT等を活用し、生徒に有効な進路情報の提供ができた。 *前年度の反省をすべて生かし切れなかった。
保健部	環境整備・安全 教育	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察の徹底及び傷病発生の防止 教育相談体制の充実 校内清掃の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 「ほけんだより」において、傷病予防等を扱い、注意喚起する。 HR担任による健康観察の徹底を図るとともに、生徒の些細な異変に気付いたら、学年会、教科会、校務委員会などでその生徒情報・状況を共有する。 全校集会などを通して、生徒に清掃の徹底を促すとともに、各清掃担当教員の清掃指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談委員会など、必要に応じて適切に実施できた。 *毎日の清掃活動をはじめ、環境美化について生徒に呼び掛け、清掃の徹底を図る必要がある。
情報研修部	情報・視聴覚	<ul style="list-style-type: none"> GIGAスクール構想の推進 学校紹介ビデオの更新 	<ul style="list-style-type: none"> ロイロノート、スタディサブリ、Microsoft Teamsについてそれぞれ管理者を設置し、教科や学年での活用のサポート体制を強化する。 生徒の一人一台端末の導入に向けて、使用に関する基本的な方針や規定についてまとめ、マニュアルを作成する。 高校見学会に向けて、新しい学校紹介ビデオを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒用タブレットの全員貸与により、授業でのICT活用が大きく進展した。 *授業におけるタブレットの利用機会が増えたことによる、生徒用タブレットのバッテリー切れに対する方策を考える必要がある。
1年	学年経営	<ul style="list-style-type: none"> 何事にも主体的に取り組む姿勢を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣や学習習慣を確立し、地道に努力できるようにする。 学校行事や部活動にも積極的に参加し、主体的に行動できる生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 探究の授業で、ICT機器を多く使用できたことがよかった。 *今後、貸与された一人1台タブレットの効果的な活用方法を考える。
2年	学年経営	<ul style="list-style-type: none"> 自ら学び続ける生徒の育成 中心学年として、学校行事・部活動等、後輩の模範となる生徒の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的かつ対話的な授業を実践する。 自学自習の習慣を継続し、進路目標に向けて着実に努力をできるようにする。 学校行事、部活動などを通じて、後輩を温かく指導できる生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導について学年間で情報を共有して、3年生に向けて入試情報を学年全体に伝えることができた。 *担任だけでなく、学年の教員全てで進路についての情報共有を深めたい。
3年	学年経営	<ul style="list-style-type: none"> 心身共に健康を保つ。 進路実現に向け全力で挑ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の心身の不調を早めにキャッチし、複数の教員で対応する。 進路実現に向け必要な情報収集を行い、きめ細かく生徒に提供する。 生徒集団として、受験に打ち勝つ気力・学力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 欠席・遅刻の生徒が少なかった。 心の不調に関してしっかりケアできた。 進路行事への参加者が多かった。
安全衛生委員会	長 健 時 間 労 働 障 害 防 止 に よ る	<ul style="list-style-type: none"> 在校時間調査結果を活用した時間外労働の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 教育系PC（タブレット端末）の電源オン・オフの習慣化を徹底し、それと連動する在校時間調査の記録に対する負担感を減少させる。 在校時間等の状況記録から、時間外労働の主な理由を確認し、業務の平準化や削減を図るように努める。また、個別に声をかけ、時間外労働の削減に向けての工夫を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 一部の担任業務を副担任と分担できた。 職員会議資料の電子データ化により印刷業務を削減できた。 *業務内容の精選を図る。 *職員会議以外にも校務系PC、タブレットを有効に活用する。
いじめ防止対策委員会	基 礎 的 な 防 止 措 施 に よ る	<ul style="list-style-type: none"> いじめの防止と早期発見に向けての組織的な取組 	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動全体を通して、道徳教育・人権教育の充実を図る。 全ての教員が、いじめに対する共通理解をもち、適切に対応できる力を涵養する。 教職員が生徒のささいな兆候を察知したら、速やかに「いじめ・不登校対策委員会」に報告するよう周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめの未然予防と把握をするために、いじめ調査を定期的（年4回）に実施した。 調査をもとに迅速に対応できた。 *「本校のいじめ防止基本方針」等の見直し。
安全衛生委員会	適 勤 正 務 な 時 間 管 理 の	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容の点検及び業務の精選 年次休暇取得の奨励 時間外の会議の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容の点検及び精選を図る。 会議等のICT化を進める。 在校時間等の状況記録を活用して業務の適正化を図り、教職員のメンタルヘルスの保持に努める。 学校施設時間を意識できるよう呼びかける。（20:00（定期考査中及び長期休業中は18:00）とする。） 顧問の役割分担を明確化する。 休日及び長期休業中の部活動の活動時間の適正化を図る。 年次休暇の取得状況に応じて、主に長期休業中の休暇の取得を促す。 月曜、水曜日の業後の会議を極力設定しないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 定時退校日や学校施設時間を周知し、教員間で共有できた。 *業務内容の点検と同時に見直しをもって取り組むことを促す。 *定時退校日の設定を見直す。